

会議名	第16回多摩市地域公共交通会議																																																																																										
開催日時	令和6年10月23日（水）午前9時30分～																																																																																										
開催場所	永山公民館ベルブホール																																																																																										
会議次第	議事 (1) 多摩市地域公共交通会議設置要綱の改正について (2) 多摩市交通マスタープランに基づく評価指標等について (3) 次期多摩市交通マスタープランの策定について (4) 多摩市ミニバス南北線路線について (5) 相模原線バス路線の廃止について 報告 (1) 「多摩市シェアサイクル事業」事業者募集の選定結果について																																																																																										
出欠席（敬称略）	(1) 出席委員・21名（氏名（ ）内は代理出席者の氏名） <table> <tr> <th>No.</th><th>職名</th><th>氏名</th><th>協議会構成委員</th></tr> <tr> <td>1</td><td>会長</td><td>陰山 峰子</td><td>多摩市 副市長</td></tr> <tr> <td>2</td><td>副会長</td><td>吉川 徹</td><td>東京都立大学 都市環境科学研究科建築学域教授</td></tr> <tr> <td>3</td><td>委員</td><td>八山 晋一郎</td><td>小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部交通企画部課長</td></tr> <tr> <td>4</td><td>委員</td><td>濁澤 雅</td><td>京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長</td></tr> <tr> <td>5</td><td>委員</td><td>竹村 友晴</td><td>多摩都市モノレール株式会社 総務部課長（総務・広報・DX担当）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>委員</td><td>佐藤 勝太</td><td>神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長</td></tr> <tr> <td>7</td><td>委員</td><td>三浦 裕介</td><td>京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長</td></tr> <tr> <td>8</td><td>委員</td><td>鈴木 健一</td><td>飛鳥交通ニュータウン株式会社 東京・神奈川地区担当 営業部長</td></tr> <tr> <td>9</td><td>委員</td><td>小野 賢治 (石井 正己)</td><td>京王自動車株式会社 運輸事業本部運輸事業本部長</td></tr> <tr> <td>10</td><td>委員</td><td>富樫 秀樹 (地宗 知子)</td><td>一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長</td></tr> <tr> <td>11</td><td>委員</td><td>小林 康雄</td><td>多摩市視覚障害者福祉協会 理事</td></tr> <tr> <td>12</td><td>委員</td><td>大石 欣也</td><td>多摩市聴覚障害者協会 福祉対策部長</td></tr> <tr> <td>13</td><td>委員</td><td>中村 一雄</td><td>多摩市自治連合会 総務委員・自治対策委員</td></tr> <tr> <td>14</td><td>委員</td><td>佐々木 茂</td><td>多摩市老人クラブ連合会 副会長</td></tr> <tr> <td>15</td><td>委員</td><td>中山 俊夫 (五十嵐 拓哉)</td><td>国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画担当）</td></tr> <tr> <td>16</td><td>委員</td><td>佐藤 義尚</td><td>国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当）</td></tr> <tr> <td>17</td><td>委員</td><td>横溝 輝昭</td><td>京王バス労働組合 多摩支部 支部長</td></tr> <tr> <td>18</td><td>委員</td><td>菅野 博明</td><td>飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員</td></tr> <tr> <td>19</td><td>委員</td><td>塚原 輝浩</td><td>東京都南多摩東部建設事務所 管理課長</td></tr> <tr> <td>20</td><td>委員</td><td>山下 宏</td><td>警視庁多摩中央警察署 交通課長</td></tr> <tr> <td>21</td><td>委員</td><td>佐藤 稔</td><td>多摩市 都市整備部長</td></tr> </table> (2) 欠席委員・・・5名 (3) 傍聴者・・・1名 (4) 事務局・・・4名（多摩市都市整備部交通対策担当課長・道路交通課交通係） 2名（株式会社ケー・シー・エス）			No.	職名	氏名	協議会構成委員	1	会長	陰山 峰子	多摩市 副市長	2	副会長	吉川 徹	東京都立大学 都市環境科学研究科建築学域教授	3	委員	八山 晋一郎	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部交通企画部課長	4	委員	濁澤 雅	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長	5	委員	竹村 友晴	多摩都市モノレール株式会社 総務部課長（総務・広報・DX担当）	6	委員	佐藤 勝太	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長	7	委員	三浦 裕介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長	8	委員	鈴木 健一	飛鳥交通ニュータウン株式会社 東京・神奈川地区担当 営業部長	9	委員	小野 賢治 (石井 正己)	京王自動車株式会社 運輸事業本部運輸事業本部長	10	委員	富樫 秀樹 (地宗 知子)	一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長	11	委員	小林 康雄	多摩市視覚障害者福祉協会 理事	12	委員	大石 欣也	多摩市聴覚障害者協会 福祉対策部長	13	委員	中村 一雄	多摩市自治連合会 総務委員・自治対策委員	14	委員	佐々木 茂	多摩市老人クラブ連合会 副会長	15	委員	中山 俊夫 (五十嵐 拓哉)	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画担当）	16	委員	佐藤 義尚	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当）	17	委員	横溝 輝昭	京王バス労働組合 多摩支部 支部長	18	委員	菅野 博明	飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員	19	委員	塚原 輝浩	東京都南多摩東部建設事務所 管理課長	20	委員	山下 宏	警視庁多摩中央警察署 交通課長	21	委員	佐藤 稔	多摩市 都市整備部長
No.	職名	氏名	協議会構成委員																																																																																								
1	会長	陰山 峰子	多摩市 副市長																																																																																								
2	副会長	吉川 徹	東京都立大学 都市環境科学研究科建築学域教授																																																																																								
3	委員	八山 晋一郎	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部交通企画部課長																																																																																								
4	委員	濁澤 雅	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部計画管理部計画担当課長																																																																																								
5	委員	竹村 友晴	多摩都市モノレール株式会社 総務部課長（総務・広報・DX担当）																																																																																								
6	委員	佐藤 勝太	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長																																																																																								
7	委員	三浦 裕介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長																																																																																								
8	委員	鈴木 健一	飛鳥交通ニュータウン株式会社 東京・神奈川地区担当 営業部長																																																																																								
9	委員	小野 賢治 (石井 正己)	京王自動車株式会社 運輸事業本部運輸事業本部長																																																																																								
10	委員	富樫 秀樹 (地宗 知子)	一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長																																																																																								
11	委員	小林 康雄	多摩市視覚障害者福祉協会 理事																																																																																								
12	委員	大石 欣也	多摩市聴覚障害者協会 福祉対策部長																																																																																								
13	委員	中村 一雄	多摩市自治連合会 総務委員・自治対策委員																																																																																								
14	委員	佐々木 茂	多摩市老人クラブ連合会 副会長																																																																																								
15	委員	中山 俊夫 (五十嵐 拓哉)	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画担当）																																																																																								
16	委員	佐藤 義尚	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当）																																																																																								
17	委員	横溝 輝昭	京王バス労働組合 多摩支部 支部長																																																																																								
18	委員	菅野 博明	飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員																																																																																								
19	委員	塚原 輝浩	東京都南多摩東部建設事務所 管理課長																																																																																								
20	委員	山下 宏	警視庁多摩中央警察署 交通課長																																																																																								
21	委員	佐藤 稔	多摩市 都市整備部長																																																																																								

1 開会

事務局が配布資料の確認を行った。

2 委嘱状交付

事務局が委嘱状の交付に係る連絡及び代理出席者・欠席者の連絡を行った。

事務局より会長が吉川委員を副会長に指名したことの報告を行った。

3 会長挨拶

会長が開会の挨拶を行った。

4 出席者自己紹介

出席委員より、それぞれ挨拶があった。

5 議事

(1) 多摩市地域公共交通会議設置要綱の改正について

○事務局

- ・道路運送法第9条第4項に基づく「運賃協議会」の設立の趣旨等を説明した。

佐藤（義）委員より、運賃協議会の趣旨等にかかる補足説明があった。

○佐藤（義）委員

- ・改正の趣旨については事務局の説明の通りであるが、さしあたって一点お願いしたいことがある。交通会議の傍聴規定では会議の内容が公開可能となっているが、運賃協議会も他の交通事業者の方が傍聴できるとなると、カルテルとの疑念が生じかねないため、運賃協議会については他の交通事業者の方は傍聴不可にする等ご配慮いただきたい。

○事務局から回答

- ・方法を検討した後、反映させていただく。

○会長

- ・要綱に反映するか、運用の中で反映させていくかは事務局と協議し対応していく。

質疑応答

なし

結果

異議なし

(2) 多摩市交通マスタープランに基づく評価指標等について

○事務局

- ・資料No.4における各取組項目の概況、議決事項ではなく協議事項である旨等を説明した。

各委員より、それぞれの取組項目等に係る報告があった。

評価指標 1－1

○八山委員

- ・令和5年度の乗降人員について、令和4年度より1～2%増加はしているが、コロナ禍前の平成30年度と比べるとマイナス14～20%であり、コロナ禍前の水準には戻っていない。小田急全線で利用者の回復傾向を見ると、全線ではマイナス11～12%のため、多摩市内の回復は少し遅れている傾向が見られる。

○竹村委員

- ・令和5年度の利用者数は令和4年度より減っており、中央大学法学部（多摩キャンパス）が移転した影響が大きいと考えられる。
- ・一方、今年度の輸送人員について、現時点の数値では前年度より5%弱増加しており、コロナ禍前と比べるとマイナス5%程度を推移している。

○濁澤委員

- ・利用者数はコロナ禍前と比べマイナス13%程度で定着しており、特段の策を講じなければこれ以上の増加は考えにくい。
- ・現在利用してくださっているお客様等が安心・安全に利用できるよう、経営の効率化をはじめ、未来に向けた投資体勢が必要。ホームドアの全駅設置やサービスの向上に加え、多摩地域、多摩ニュータウンの活性化に助力できるようしっかりと取り組んでいきたい。

評価指標2－1

○佐藤（勝）委員

- ・令和4年度から令和5年度にかけての利用者数は増加しているが、コロナ禍前と比べると戻っていない。エリア全体で見ると17%程度は回復している。
- ・バス業界全体の課題でもあるが、乗務員不足等の厳しい状況が続いている。

○三浦委員

- ・コロナ禍以降、利用者数の回復が見られるが徐々に頭打ちになってきており、コロナ禍前のマイナス15%程度で推移している。要因としては在宅勤務の定着や高齢化の進展が考えられる。
- ・当社でも乗務員不足が深刻な課題であり、2023年9月に運賃改定を行う等、処遇改善に努めている。

○鈴木委員

- ・利用者数はなかなかコロナ禍前には戻っておらず、コロナ禍での高齢ドライバーの一斉離職等もあり、乗務員不足も大きな要因と考えられる。健康診断等の福利厚生の実施を図り、従業員の離職を防止する等取り組んでいる。
- ・日本版ライドシェアとして、9月20日から毎週金・土曜日の17時～22時に、1台運行になるが稼働を開始している。

○小野（代理石井）委員

- ・利用者数は、日中に関してはコロナ禍前に戻りつつあるが、夜間、特に10時以降については厳しい状況である。多摩市・稲城市は需要が非常に落ちており、もともと夜勤だったドライバーを日勤に変更する等の状況もある。

○富樫（代理地宗）委員

- ・乗務員不足は深刻な課題であり、協会としても採用募集や大型二種免許取得等、採用に注力して支援していきたい。

評価指標 3－2

○山下委員

- ・交通事故発生件数についてはコロナ禍前と同等の水準に戻ってきているが、今年度に関しては減少傾向が見られる。
- ・事故種別の内訳を見ると自転車事故が増えており、自転車事故防止の広報や取り締まり等を強化していく所存である。
- ・統計上、年末の事故は増加傾向にあるため、こちらについても対策を強化したい。

評価指標 2－1、2－2、3－1、3－3、4－1、4－2

○佐藤（稔）委員

- ・指標 2－1 ミニバスの乗降客数は、令和 5 年度は令和 4 年度に比べて減少している。要因として、ミニバス東西線が多摩市立中央図書館の新設に伴い路線再編を行った結果、運行間隔が 4 5 分から 5 0 分間隔に延長されたことも考えられる。
- ・指標 4－2 地域密着型交通運行事業収支率は令和 4 年度に比べて 1 ポイント程度増加している。要因として、利用者数は減っているものの、令和 5 年 9 月 1 6 日に運賃改定を行い賃上げしたためと考えられる。

質疑応答

○大石委員

- ・指標 3－3 について、高齢者の増加に伴い、障がい者も高齢化しているため、交通の面でもご協力いただきたい。例えば電車の遅延情報は、スマホを使わずにいるとホームまで行って初めてようやく遅延していることが分かる。改札付近等に案内を出してもらえるとありがたい。そうした取組が目標値につながると思う。
- ・災害時には筆談が難しい場合も考えられるため、手話ができる方がいると大変ありがたいと思う。

○富樫（代理地宗）委員から回答

- ・バスの話になるが、手話教室等の講習を行っている。こうした取組を広げていき、多くの事業者の方にご参加いただければと思う。

(3) 次期多摩市交通マスタープランの策定について

○事務局

- ・公募型プロポーザルの結果、策定事務については株式会社ケー・シー・エスに委託することを報告した。

○株式会社ケー・シー・エス

- ・資料No.5 における次期多摩市交通マスタープランの策定方針、業務内容、業務フロー、スケジュール等を説明した。

質疑応答

○中村委員

- ・前回の計画も同様の方式で策定されたのか伺いたい。

○事務局から回答

- ・前回の計画でもアンケート調査や住民ワークショップを行っている。なお、策定に関しては別の事業者であったが、今回の計画と同様に市、コンサルタント、地域公共交通会議で策定した。

○八山委員

- ・前提として、鉄道業界においても担い手不足の問題は大きく、特に2030年代になると多くの乗務員が定年を迎えることもあり、これまでよりも少人数での効率的な運行が求められることとなる。今回の計画はそこに至るまでの事前段階の計画になるかと思うが、今後を見据えて、交通DXや代替移動手段等の調査項目の追加を検討いただいてもよいのではと感じた。

○事務局から回答

- ・ご意見の通り、事務局としても供給面の課題については懸念している。そこで、本来は計画作成後に行う住民ワークショップを作成前の早い段階で行い、供給面の課題もお伝えした上でご意見を頂き、今後の検討に活用していきたいと考えている。

○大石委員

- ・無人駅は障がい者にとっては使いづらい。障がい者だけでなく高齢者にとっても難しいかと思うので、そのあたりもアンケートで調査してもらいたい。

○事務局から回答

- ・鉄道駅の無人化については度々この会議でもご指摘頂いており、今回の計画でも検討材料として、何かしら対策ができないか考えていきたい。

○中村委員

- ・住民ワークショップの開催が来月18日とのことだが、期間が短い中で周知はどのように行うのか。

○事務局から回答

- ・市の広報やミニバスの車内広告等、極力多くの市民に発信しながら、特に普段から公共交通を利用している方にお越しいただければと思う。

○中村委員

- ・住民ワークショップの参加者は何名程度を想定しているか。アンケート調査とは違うとはいえ、なるべく多くの人に来ていただき意見をもらえるのがよいと思う。

○事務局から回答

- ・現実的には数十名程度集まっていただければと思うが、昨今では1桁程度の参加者というワークショップもあることから、少数の意見だけが大きく反映されないように、アンケート調査等で広く市民の皆様の意見を集める形で調査を実施していきたい。

○佐藤（義）委員

- ・住民ワークショップだけでなく、アンケート調査等の実施の際にも交通事業者の現状をお伝えしていけるとよいと思う。
- ・また、定時性についても着目して伺っていただけるとよい。運行本数だけではなく、定時的に稼働していることが利用につながっていると考えられる。

○事務局から回答

- ・文面では伝えづらい部分もあるが、ご指摘の通りアンケート調査等においても公共交通や交通事業者の現状を正しくご理解いただけるように実施したい。
- ・定時性についても、利用者の方は体感しつつそれ以外の点に目が行きがちなる部分もあるかと思う。改めて定時性や普段の利用について、うまくお答えいただけるよう工夫していきたい。

○佐藤（義）委員

- ・市民アンケートの回収はどれぐらいを想定しているか。
- ・路線バス利用者アンケートは、市内だけでなく市外からも利用される方がいるため、属性の整理が必要。また、市内交通と市外との接続のどちらを重視しているか等、現時点

での考えがあれば伺いたい。

○事務局から回答

- ・市民アンケートの回収は大体3～4割程度を想定している。
- ・路線バス利用者アンケートは特に市内での利用状況を、利用者の属性がきちんと分かるように整理し、しっかりと分析に役立つデータが取れるよう実施していきたい。

(4) 多摩市ミニバス南北線路線について

○事務局

- ・資料No.6における多摩市コミュニティバス運行事業にかかる協議について受託事業者より申し入れられた旨等を説明した。

三浦委員より、協議申し入れにかかる経緯等の補足説明があった。

○三浦委員

- ・当社では現在、深刻な乗務員不足があり、運賃改定を原資とした処遇改善等を行っているが退職増加の流れを止めきれず、採用人数が退職者人数に追いついていない。また、いわゆる2024年問題の改善基準告示の変更により、ドライバーの一日あたり労働時間が更に規制され、現行の維持が難しく、一般路線バスの減便や廃線を伴うダイヤ改正を実施してきた。利用者の多い黒字路線の減便も余儀なくされる中、コミュニティバスだけ運行の規模を維持することは難しく、申し入れをさせていただいた。こうした申し入れは多摩市だけでなく他の自治体においても行っている。

質疑応答

○中村委員

- ・南北線路線については以前から代替交通手段への置き換えが計画されてきたが、コロナ禍になり中断されていた。当然、コロナ禍前と状況が変わり、既存の計画では導入できないため、新たに何らかの代替手段等の検討をお願いしたい。

○事務局から回答

- ・南北線路線については多摩市地域公共交通再編実施計画の中でデマンド交通への代替が計画されていたが、ご指摘の通りコロナ禍になり頓挫していた。今回の申し入れも踏まえ、次期多摩市交通マスタープランの中で整理し、検討していきたい。

結果

本件については引き続き事業者との協議を行い、本会議で進捗を報告していく。

(5) 相模原バス路線の廃止について

○三浦委員、佐藤（勝）委員

- ・資料No.7における「桜84：相模原駅北口～南大沢駅～聖蹟桜ヶ丘駅」路線の退出にかかる経緯等を説明した。

質疑応答

なし

結果

やむを得ないものとして承認

6 報告

(1)「多摩市シェアサイクル事業」事業者募集の選定結果について

☐事務局

- ・ 審査の結果、OpenStreet 株式会社が採択されたことを報告した。

7 閉会

以上を以って全ての予定を終了したため、会長より要点録の署名について佐々木委員と佐藤（稔）委員が指名され、会議を終了した。

以上